

目標を立てよう！

茗溪塾塾長 長谷誠基

5月に入り、汗ばむような陽気になってきました。学校行事もこれから本格的になってきますので、生徒の皆さんも忙しい時期に入ります。4月の終わりに小6受験コースと公立一貫校受検コース対象に全校合同特訓が開催されました。川口・稲毛・瑞江の3教室に総数140名ほどが集まりました。「第1志望にチャレンジ！」というテーマで行われ、実際の入試問題を解いてそのレベルを実感してもらいました。生徒たちは「難しい…」「わからない…」「これなら何とかかなるかも…」などと言いながら、集中して問題に取り組んでいました。開会式では「今日は問題が解けなくても、解こうとして努力し、考えることが重要。そして、合格するためには今の勉強でいいのか？自分で考えてみる必要があります。」という話をしました。今回の特訓を通して、「もう少しやり直しをしっかりとやろう！」とか、「計算を丁寧にやってみよう！」とか、自分で勉強を工夫する姿勢が出てくればベストです。自分で工夫するということは、勉強自体が自分のものになっている証拠ですので、いずれ成績は上がっていくでしょう。このように気持ちが変わり、自分で学習に向かうようになることが合同特訓などの目的ということになります。

そして当たり前ですが皆さんが勉強している目的は、志望校に合格することになります。そのための目標を立てるのに一番いい時期が今だと思います。受験生であれば、春に行った模擬試験の結果が戻ってきて、5月中には面談が行われますし、それ以外の学年でも定期試験や各種の検定、全国統一小学生テストなどのイベントがこれから行われるようになっていきます。志望校に合格するためにはどうするのか？苦手科目を克服するには？はじめての定期試験でよい点を取るためには？など具体的な目標を立てやすいのです。次に、先の大きな目標を達成するために、中期や短期の目標を立てましょう！短期目標は毎日や1週間～2週間くらいの間で行うものを具体的に決めていきます。「単語を1日20個覚える」とか「1週間でテキストのこの単元を終わらせる」、「来週までに学校のワークの何ページまでを終わらせる」などです。具体的な数字がないと意外とやれないものです。無理のない数値目標を決めておきましょう。2週間から1か月たった時に達成状況を見て、目標の修正を行います。このように状況を確認しながら達成度を見て目標の再設定を行っていきます。この再設定ははじめは保護者の方の協力が必要かもしれません。特に小学生は自分を客観的に見ることがまだできませんので、保護者の方から見て無理のない数値目標を子供と相談しながら決めるという形がベストです。早めの目標設定で無理なく到達が可能です。頑張りましょう！